

浅利学長を囲んで ～麻布大学高知県同窓会～

【同窓会開催の概要】

* 平成28年11月5日土曜日午後6時、高知市の料亭「葉山」にて高知県同窓会(高知県支部)の通常総会、懇親会を開催。来賓として大学から浅利昌男学長出席。

* 会員数49人中14人、来賓1人、計15人の出席。欠席の委任状ハガキ25通。

* 議案書の説明:理事役員変更や会費納付状況、事業報告、収支決算報告、愛媛県開催の四国地区連合同窓会のことなど。なお、高知県同窓会の会計年度は10月1日～翌年9月30日。次回開催は、平成29年10月頃に高知市にて予定。

* 浅利学長からの大学の情勢報告のなかで、ハード面とくに校舎等の施設は充実してきたものの、人材面では他の大学にリードされている状況だそうで、以前は「臨床の麻布」と言われ、外科・動物病院での実績があり、なかでも「四天王」と呼ばれた「若尾、小方、菅沼」先生が退官された後は、人材不足とのこと。当時解剖学を教えて頂いた浅利先生のままの非常にわかりやすい説明で、今の大学の内情が判りました。

* 愛媛県での四国ブロック会議の中で話し合われた同窓会員の増員対策の件では、他学科の卒業生を副支部長等の役職に就ける案が出た。当支部でも旧名簿(2007年度版)を頼りに他学科の卒業生に入会の勧誘をすることが決まった。それから、出席した同窓は皆、同窓会本部と共に、母校発展の一助となるべく、決意を新たにされた次第です。

いつものお約束の言葉ながら、同窓の皆さん、高知に来てナインヨで素通りは、坂本龍馬と高知県支部が「許さんぜよ！」

(高知県支部事務局 野村泰弘)

